

全腎協・県腎協から患者の皆さんへ“緊急”のお願い！！

新型コロナウイルス感染症対策について【重要なお願い】

新型コロナウイルスは、現在も全国に拡散し猛威を振るっています。感染者数もすでに5,000名を超え、死亡者も85名を超えています。4月7日には、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都府県に対して「緊急事態宣言」が出されました。ご承知のように、人工透析患者は感染リスクが高いと言われ、高齢患者、糖尿病性腎症患者も多数いる中、東京、静岡、福井等では人工透析患者や透析室医療従事者の感染者も発生しております。収束の見えないコロナウイルスに対して不安やストレスを感じていると思いますが、引き続き気持ちを緩めることなく感染予防に十分お取り組み頂きますようお願い申し上げます。繰り返しになりますが、▼不要不急の外出は控えること、▼丁寧な手洗いとうがい、▼通院や外出時は必ずマスクの着用をお願いします。感染を防ぐことで、私たち自身の命を守ること、透析をしている仲間の命を守ること、家族の命を守ること、私たちの治療に日々ご尽力いただいている医療従事者、介護従事者の命を守ることに繋がります。

「一人じゃない。仲間と一緒に、助け合い」これからも一人一人が笑顔で暮らせるよう全国の仲間と共に感染予防に取り組んで行きましょう。

一般社団法人 全国腎臓病協議会 会長 馬場 享

『ゴールデンウィークには、外出自粛！ 帰省しない！ 帰省させない！』

・GWには多くの方が都市部と地方を行き来します。皆さんも大切なお子様、お孫様、ご家族とお会いになるのを楽しみにしていることと思います。しかし！新型コロナウイルスの感染は都市部と地方の人の移動によって拡散されています！また、感染から発症は4日～2週間と長く、無症状の感染者もあります。自分自身そして、大切な家族や仲間、医療・医療従事者を守るために、**今年のゴールデンウィークだけは「外出自粛！ 帰省しない！ 帰省させない！」**を合言葉に、感染の拡大を防ぎ医療を守ろう！

☆ 透析患者における新型コロナウイルス感染者数 日本透析医会発表(2020年4月10日時点)

1. 北海道・東北地区（北海道，青森，岩手，宮城，秋田，山形，福島） 0人
2. 関東地区（東京都を除く）（茨城，栃木，群馬，埼玉，千葉，神奈川） 10人
3. 東京地区（東京都） 11人(死亡2人)
4. 甲信越・北陸・東海地区（新潟，富山，石川，福井，山梨，長野，岐阜，静岡，愛知，三重） 5人
5. 近畿地区（滋賀，京都，大阪，兵庫，奈良，和歌山） 2人(死亡1人)
6. 中国・四国地区（鳥取，島根，岡山，広島，山口，徳島，香川，愛媛，高知） 0人
7. 九州・沖縄地区（福岡，佐賀，長崎，熊本，大分，宮崎，鹿児島，沖縄） 3人 合計31人(死亡3人)

日々増加しています。
医療崩壊 ↓
透析が出来なくなります。

日本透析医会発表

☆ 帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動自粛のお願いと透析施設における注意点

(要 点)

不要・不急の帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動の自粛など、感染拡大地域の居住者に対して、落ち着いた対応を行うように促しています。社会の安定の維持の観点から、緊急事態措置の期間中にも、鉄道や航空、バスやタクシーは運航しておりますが、出かけた地域で、ほかの人に感染を広げる、出かけた地域の医療従事者や保健所・行政に大きな負担をかけることから今いる場所や地域にとどまることが重要です。ぜひ、患者・医療従事者ともに、不要・不急の外出は控えるようお願いいたします。

1. 透析患者への注意

- ・ 必ずマスクを着用する。 ・ 患者待合室などで、患者同士の近距離・長時間の滞在を控える。
 - ・ 待合室や食堂での、食事を控える。（食事の際にマスクを外す必要があるため）
 - ・ デイサービスなど介護事業の利用を可能な範囲で控える。（複数の人と接触して感染を持ち込む可能性がある）
- 新幹線や飛行機を利用した長距離の旅行や帰省などの移動は控える。不要不急の外出は控える。

岐阜県透析医会も、日本透析医会同様に、不要不急の外出、帰省（家族・親族を含）や旅行など都道府県をまたいだ移動自粛を求めています。

現在、岐阜県で新型コロナ対応入院病床458床（うち感染症対応30床）が準備されている。新型コロナウイルス感染透析患者が発生した場合、現状では全て入院が必要であり軽症患者でも重症患者でもコロナ対応病床に入院することになる。ただし感染症患者が大幅に増加の場合、軽症患者は自宅待機となると予想されている。非透析患者との違い、入院での対応や通院への対応などの対策を検討しています。（健康福祉部 保健医療課）